

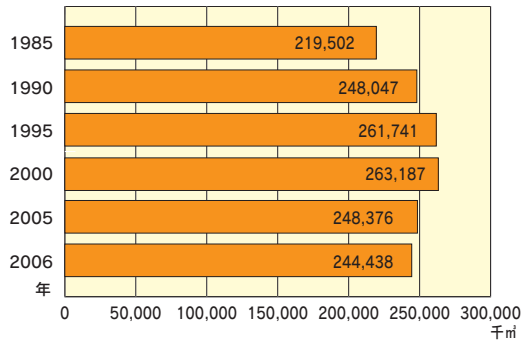
### 3 住みよいくらしをささえる

#### (1) くらしをささえる水

水は、毎日いろいろなところで使われています。人口が増えるにつれて、県内の給水量は年々増え続けてきましたが、最近では人口の減少や水を大切に<sup>たはた</sup>する意識が高まり減ってきています。

家庭や工場、田畑などでたくさん使われる水を確保するため、県内各地にダムがつくられています。

●給水量のうつりかわり



●おもなダムの位置

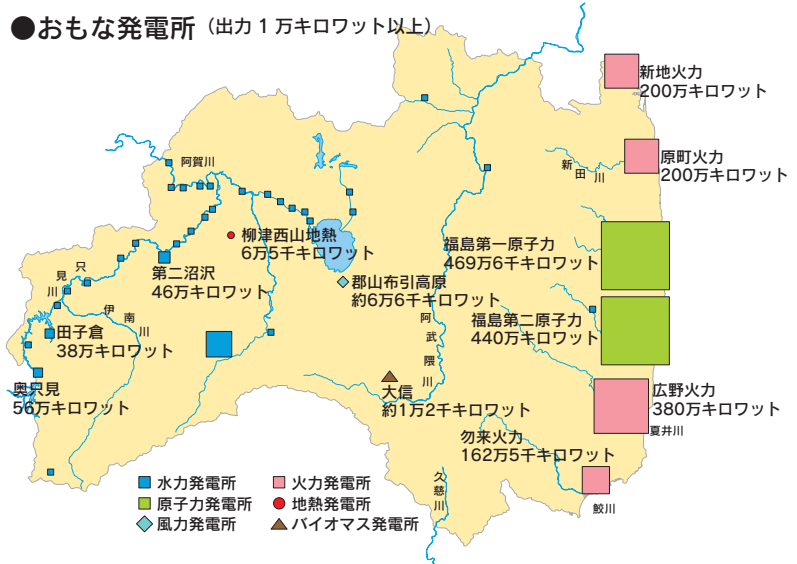


## くらしをささえる電気と福島県

水とともにわたしたちのくらしをささえているものの1つに電気があります。電灯などの照明器具をはじめテレビや冷蔵庫、洗濯機など、わたしたちの身の回りには、電気がないと動かないものがたくさんあります。

福島県には、この電気をつくる発電所がたくさんあり、そこでつくられた電気は県内だけでなく関東地方などにも送られています。

浜通りには火力発電所や原子力発電所が、会津の只見川沿いには水力発電所がたくさんあります。また、柳津町には地中の熱を利用した地熱発電所があり、この他、最近では風力や木質バイオマス、太陽光など化石燃料に頼らない自然エネルギーを利用した発電所もつくられてきています。



水力発電所 (只見町)



火力発電所 (新地町)



原子力発電所 (大熊町・双葉町)



地熱発電所 (柳津町)